

# 防災のための大湊地域資源発掘プロジェクト

・新規学生対象説明会の準備・打ち合わせ

・大湊地区における地域防災イベント打ち合わせなど

・大湊地区内における地域防災訓練参画・地域資源調査および大湊沿岸部トローン撮影

・大湊小学校での児童向け防災ワークショップの準備と開催

・大湊地区沿岸部、干潟生態調査と結果の防災教育活用に向けた打ち合わせ

・児童向け大湊防災／地域資源マップの調査と作製(予定)

・児童向け大湊防災／地域資源マップの調査と作製および提示(予定)

2017

5

10

11

12

1

2

3

## ◆今年度の活動を振り返って（成果と課題）

**本活動は**伊勢市大湊地区の歴史文化や自然環境を再発見するとともに、これらの地域資源を最終的に防災資源として活用し地域に提示することを目的として、平成28年度から継続的に活動しています。本活動では、大湊町振興会を拠点としながら皇學館大学、三重大学などの学生が連携し、各種専門性を活かしてフィールドワークを通して大湊の個性を知り、地域防災イベントや小学校の出前授業により、大湊地区の防災力向上に向けた活動を目指しました。

平成29年11月には、大湊地区の避難訓練イベントの運営スタッフとして三重大学学生と共に参画しました。12月には、大湊小学校において、三重大学大学院生と本学CLL活動学生により、出前授業を行いました。本授業では、昨年度の活動と三重大学学生の調査に基づいて作成された避難経路マップを小学生向けにわかりやすく改変し教材として用いました。地図上で難経路上の危険箇所を出し合い、防災施設などを探し、児童と適切な避難経路を確認しました。また、防災を考える上では、その「地域の歴史を知る」ことで自然災害と立ち向かって乗り越えてきた「大湊の誇り」を再認識することも効果があると考えられます。そのため、大湊の古地図や古文書なども用いてに授業に役立てました。

この活動では地域住民の防災意識向上はもちろん、子どもたちにも改めて「大湊の誇り」を持ってもらうきっかけとなるよう活動をおこなっています。そのため、現在は防災情報と大湊の地域資源を統合したマップの作製を試みています。ここでは、大湊を取り囲む干潟の生態調査結果も含め、総合的・多角的なマップとする予定です。これらの活動を通して、より多くの方に大湊の個性を知ってもらえるよう、これからも活動をしていきたいと考えています。



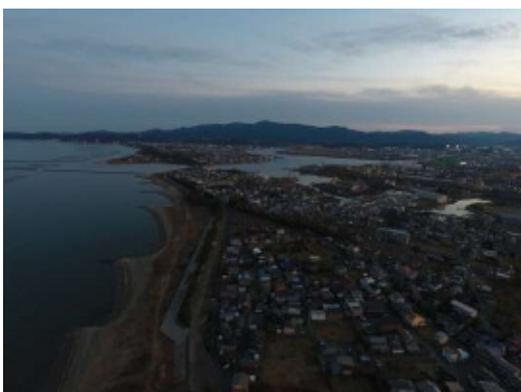
## 特にアピールしたいポイント

学校現場では学力の向上が目指されています。しかし、子どもたちの学力は教室の学びだけでは向上しません。地域の自然や歴史、文化にふれて子どもたち自ら勉強が楽しいと思え、更に追究することで改めて勉強の意味がわかるものです。大湊は多くの自然・歴史資源があります。それらを発展させ防災につなげ地域住民に伝えることで、「大湊の誇り」を深化させ次世代につなげることができます。



## 実施主体様の声

大湊の地域防災での直接の助けになるだけでなく、いろいろな大湊の個性の発見や再確認を通じて、大湊の地域の誇りの獲得につながっていくことが期待されます。大湊の宣伝にもなるので防災マップや地域資源マップの完成を楽しんでいます。



文部科学省  
地(知)の拠点

活動実施主体：大湊町未来づくり委員会 担当教員：近藤 玲介(教育開発センター)